

令和4年度せせらぎ事業報告

《施設の概要》

- ・ 名称及び所在地

「せせらぎ」 〒029-2201 岩手県陸前高田市矢作町字諏訪18番地9

TEL 0192(55)1890 Fax 0192(55)1892

- ・ 設置の種別

指定就労継続支援 B 型事業所

- ・ 概要

(せせらぎ)：作業室1・2 多目的ホール兼食堂 事務室 相談室 医務室 男女更衣室
男女トイレ 身障用トイレ 洗面所

(イチゴ農園)：作業室 店舗 休憩室 男女トイレ 多目的トイレ 育苗用ハウス
栽培ハウス

定員：20名

- ・ 目的

＜指定就労継続支援 B 型事業所＞

せせらぎが行う指定就労継続支援 B 型事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円滑な指定就労継続支援 B 型の提供を確保することを目的とする。

- ・ 運営の方針

＜指定就労継続支援 B 型事業所＞

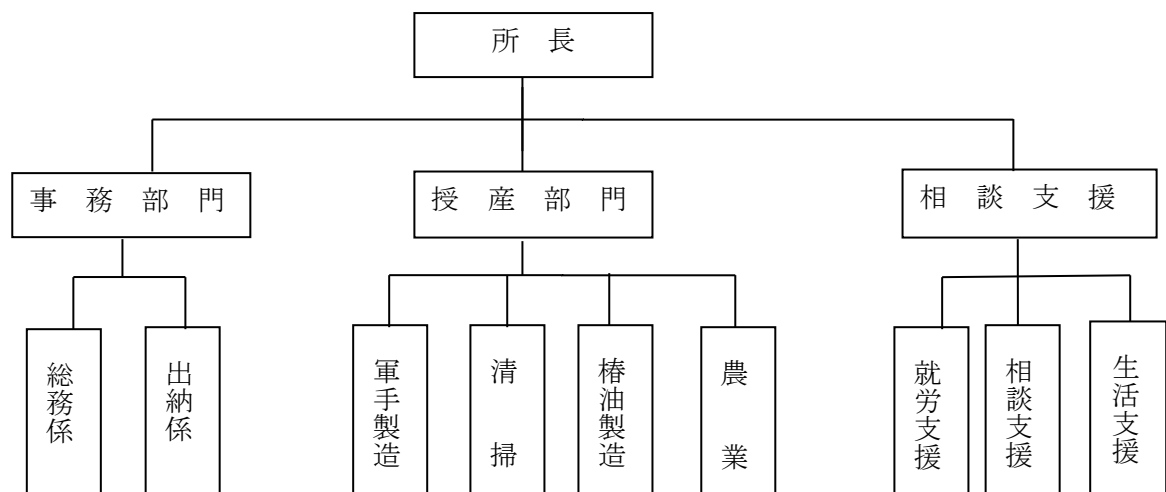
- 1 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。
- 2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
- 3 前2項の他、関係法令等を遵守し、事業を実施するものとする。

- ・ 沿革

令和2年4月1日 社会福祉法人大洋会 就労継続支援 B 型事業所「せせらぎ」として開所

令和3年2月9日 いちご観光農園「いちごパーク」開園

《組織図及び職員名簿》



<職員名簿>

	職 名	氏 名		職 名	氏 名
1	所 長	米 田 智	6	職 業 指 導 員	及 川 佳 代 子
2	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	佐 々 木 一 樹	7	職 業 指 導 員 (非 常 勤)	黄 川 田 文 恵
3	生 活 支 援 員	及 川 香	8	会 計	岡 崎 由 加 里
4	目 標 工 賃 達 成 指 導 員	浅 野 博 則			
5	職 業 指 導 員	小 島 直 子			

1・行事報告

(1) 行事

月	日	行 事 名
5	29	自治会総会・食事会
12	17	大忘年会 (せせらぎ)
1	10	初詣(天照御祖神社)

(2) 諸会議・施設内研修

毎月実施：職員会議・支援会議・工賃会議

月	日	研修内容	講 師
2	7	法人講演会 (アンガーマネジメントについて)	関村 和絵氏
3	9	虐待防止研修	所長

(3) 研修受講状況

月	日	研修内容	参加	開催場所
10	14	サービス管理責任者基礎研修	1名	盛岡市
2	2	サービス管理責任者更新研修	1名	盛岡市

2. 実習生・研修生の受入状況

なし

3. 利用者の状況 (令和5年3月31日現在)

(1) 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	年平均
月平均	17.5	16.5	17.0	16.4	16.6	16.9	16.8	17.5	17.7	15.8	17.7	18.2		17.1
延べ	385	380	376	378	382	373	388	387	408	365	354	419	4595	382.9

(2) 年齢別

区 分	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	平均年齢
男	3	2	2	5	2	1	49.8歳
女	0	1	0	3	2	0	
合 計	3名	3名	2名	8名	4名	1名	

(3) 障がい別

区 分	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	発達障がい
男	3	5	6	1
女	1	4	1	0
構成比	19%	43%	33.3%	4.7%

(4) 日課表

月 ～ 金 曜 日			
9：00～	朝礼・ミーティング・作業開始	14：30～14：45	休 憩
10：15～10：30	休 憩	14：45～15：30	作 業
10：30～12：00	作 業	15：30～15：45	整理・整頓・清掃
12：00～13：00	昼食 ・ 休憩	15：45	終 礼
13：00～14：30	作 業		

4. 利用者の支援状況

(1) 健康管理

・令和4年11月11日・18日・実施結果一覧

総合判定	異常なし	要精密検査	経過観察	
人数(名)	3	14	2	19名

健康診断を広田診療所にて、11月実施。検査結果については上記の通りであった。個人へ検査結果を配布するとともに、該当する項目については通院を勧める文書を添付した。

新型コロナワクチン接種について。4回目接種、8月から9月に職員7名・利用者13名実施。5回目接種、11月から1月に職員7名・利用者13名実施している。心配されていた副作用については、接種当日の熱発、倦怠感、接種部位の痛み等の報告が数名あったが重症に至る者はいなかった。又、5回目接種、利用者1名は副作用が強くみられるため本人希望により接種を見合わせている。他利用者1名については、接種を促すも本人の強い希望により未接種である。

新型コロナウイルス感染者について。10月職員1名家族からの感染。12月23日、職員感染確認。その日は、利用者、職員自宅待機となった。館内消毒作業を行った。翌日、各自でPCR検査を行い全員陰性確認し通常通り作業を行っている。12月26日、利用者1名感染確認。感染源が不明。その後、利用者2名感染確認した。いずれも、マニュアルに沿って対応をしている。

新型コロナウイルス感染対策について。毎日の健康記録を記入し提出して頂いている。不要不急の外出はひかえ、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底し、館内の消毒、換気をこまめに行ってる。又、利用者、利用者ご家族にコロナ禍における生活様式等文章を配布し、それに従って行動して頂く様促している。濃厚接触者については法人が定めたマニュアルに沿って対応し、PCR検査で陰性が確認できる迄自宅待機を促している。今後も繰り返し感染予防に対する声かけ等を行い、感染者を出さない様つとめていく。

インフルエンザ予防接種。今年度は、広田診療所にて、11月1日・4日・7日に実施している。

インフルエンザ感染者の報告はなかった。

(2) 授産の概況

① 清掃部門

(希望ヶ丘病院)

・利用者の体調等により、清掃作業を行う利用者確保が難しい状況もあったが、青松館の協力もあり人員の確保は概ね問題なかったと思われる。利用者の障がいの重度化、高齢化が進み、体力的に難しい方については階を限定しての配置などで配慮している。今後は新しい作業者の育成・確保が課題である。

(市営住宅消毒作業)

今年度より受託した、新型コロナウイルス感染予防対策の一環で市営住宅のエレベーターや手すりなどの消毒作業を行っている。2名～4名の利用者が作業を行っている。

② 軍手部門

・今年度は新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ注文数が平年並みに回復。毎月注文のある取引先の注文量に大きな変動はなく、概ね毎月同程度の注文量、売り上げであったが、清泉小学校や大谷田就労支援センターなどの大口の特別注文が無かったこと、軍手編み機が故障し、3台稼働停止したため生産能力が低下、注文をさばききれなかったことなどが影響し、予算比93%、前年比91%で今年度を終えた。今後は昨年度に引き続き材料経費と見直しを行いつつ、ここ2年ほどで数%上昇している糸の仕入れ値を製品の価格に反映して値上げを実施。軍手編み機の修理を外注して生産能力の回復を行い、取引先の要望に応えるようにして予算達成を目指す。

③ 椿油部門

・今年度は前年度同様、椿種買取価格を600円で行なった。搾油依頼が約1t、買取りが約300kgで合計でも約1.3t(令和5年3月31日現在)となり、前年度と同様に集まった。年間収入は約95万円とこちらも前年度同様の売上となった(令和5年3月31日現在)。販売先としては、前年度と大きく変わることはなく、マイヤ等の地元スーパーからの注文は例年通りに受注でき、1年を通じて供給することができた。また、陸前高田市内の学校給食センターからの注文も安定して受けることが出来た。前年度同様に新型コロナウイルスが流行していたこともあり、催し物も皆無で販売機会が減ってきている。新型コロナウイルスの感染縮小傾向に伴い、催し物での販売機会が増加することが考えられるため、計画的な製造を心がけていかななくてはならない。今後も伝統文化が継承されていくよう地域密着型の授産となるよう活動していきたい。

④ 農産物部門

・いちご観光農園3年目ということもあり、栽培に関する知識や不測の事態への対処知識が前年度よりはついたこともあり、前年度よりも安定した栽培が出来た。新型コロナウイルスの縮小傾向も見られ、前年度を超える来客数であった。また、原油価格高騰や様々な原材料の高騰もあり、いちご狩り料金を大人のみ200円上げた。前年度の生育不良の事も考え、予約を調整しながら、臨時休業も設けず開園することが出来た。いちご狩り客数の伸びもあり、法人内外でのパック販売は前年度よりも縮小傾向だった。今後は、いちご狩り客の安定確保といちごの安定した栽培、各職員の栽培技術の向上を目指していく。また、トウモロコシに関しては、例年通り、生育の良い物と悪い物との差があり、栽培技術の課題が残った。トウモロコシの収入は前年度より大きく増収とまではいかなかった。また、シャインマスカットの実績は前年度よりはよかったが、販売数や収入は新型コロナウイルスの影響もあり、大きく伸ばすことは出来なかった。生育技術が前年よりも上がってきているため、更なる向上を目指していく。作業は、主要な部分を職員が行なう事が多く、利用者が関わる作業が限定されていることから、作業内容を工夫し多くの作業に利用者が関わられるようにす

ることが求められる。

今後は、新型コロナウイルス感染縮小の傾向がみられるため、催し物での販売再開等での一般客への販売機会を増やし、収入の増加を目指していく。

授産事業収入（生産）額表

年 度	総収入額	事 業 別 内 訳			
		軍手部門	清掃部門	農業部門	椿油部門
令和3年度	21,213,427	3,861,997	5,722,695	10,684,733	944,002
令和4年度	25,718,053	3,478,270	5,339,979	15,946,094	951,710
構成比	100%	13.5%	20.8%	62%	3.7%

☆ 令和4年度工賃支給総額 8,435,900円 利用者平均工賃 35,150円

5. 防災状況

(1) 自衛消防隊

	係	任 務	係 長	係 員
隊長 所長	通報連絡員	消防署、関係機関への通報連絡	米田 智	小島 直子
	消 火 係	初期消火活動	浅野 博則	佐々木一樹
	避難誘導係	利用者の避難誘導	及川 香	小島 直子
	警 備 係	逃げ遅れ者の確認、救助、延焼防止	佐々木一樹	米田 智
	救 護 係	負傷者の救護	黄川田文恵	及川佳代子

(2) 訓練実施状況

実施日時	令和5年3月14日(火) 午後12時45分	訓練種別	避難訓練
訓練想定	矢作川氾濫警戒による避難。	避難場所	駐車場
洪水からの避難訓練。高齢者等避難が発令されたことを想定。12時45分より避難開始。車両へ利用者を誘導し、避難持ち出し品を積んだ後、逃げ遅れ者の確認と点呼で全員の車両乗車を確認、避難先である矢作小学校への移動をもって訓練を終了した。			

(3) 各室火気戸締り等責任者

令和4年4月～令和5年3月

箇 所	責 任 者	箇 所	責 任 者
第1作業室	浅野 博 則	玄 関	佐々木一樹
第2作業室	浅野 博 則	男子更衣室	浅野 博 則
椿油工房作業場	佐々木一樹	女子更衣室	黄川田 文恵
事 務 室	及川 香	ト イ レ	及川 佳代子
医 務 室	黄川田 文恵	外倉庫・施設周辺	小 島 直 子
多目的ホール	小 島 直 子		

6. 苦情受付状況 0件

7.まとめ

利用者については、定員が20名に対し4月は20名でスタートし、5月に1名の退所がありました。11月には新たに2名が利用開始となり、3月末時点で21名が利用しております。利用率については81%と前年度より向上していますが、施設の経営状況は依然厳しく、新規利用者の確保と利用率の向上が図れるよう引き続き努力していきたいと思います。

就労支援事業については、軍手部門や清掃部門で新型コロナの影響や受注減などで減収となりましたが、主力のいちご農園でのいちご狩りの来場者数が大幅に増加し、収入も増収となり、平均工賃支給額も35,150円となりました。来年度についても、各部門の収益率の向上に努め、イチゴ栽培技術の確立のための研修や実習を実施し、平均工賃の向上を目指していきたい。

今年度については、職員、利用者の中から新型コロナの感染者が出ており、感染症対策を徹底し感染予防に努め、利用者が安心して利用できるようしていきたいと思います。